保護者の方へ

　　　　　　　　　　　　　　　　子どもたちに伝えたいこと

　保育園では、どろんこあそびが始まり、暑くなると水あそびが始まります。

そこで、子どもたちの着替えについて職員で話し合いました。

自分や友だちの体に興味がでてくる幼児期に、きちんとプライベートゾーンについて知って守り、命の誕生についても知ってほしいと考えます。「性」について学ぶことは子どもたちの権利です。

保育所保育指針で示された**「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」** のなかに「健康な心と身体」や「生命尊重」という項目があります。これは日々の保育の考え方の基本となるもので、心や体の健やかな成長、自然や身の回りの生命の尊重という側面もありますが、一方で自分や周りの人の体について考える側面も含まれていると言えます。

良い機会だったので、4歳児・5歳児対象に「おちんちんのえほん」を読みました。

最初は、「おちんちん」というワードに大笑いの子どもたちでしたが、絵本を通して自分たちの体には「プライベートゾーン」と呼ばれる部位があることを学びました。

水着で隠す場所がプライベートゾーンであり、その部位は人に見せるものではなく、『見せて』と言われたら『いやだ』と言わなければいけない、人に触らせていけない大切なところなんだと子どもたちと確認しました。

それから、「知らない人にはついていかない」「自分の命は自分で守る」ことも、絵本に書かれていた大事なこと。子どもたちにも繰り返し声に出してもらい、しっかりと覚えてもらいました。

男の子と女の子の身体の違い、しくみも絵本で確認しました。最初笑っていた子どもたちは、真剣な表情で絵本を見ていましたよ。たった一つしかない自分の体や命について知ることで、子どもたちは自分で守ることの大切さ、傷つけてはいけないことも学んでいくと思います。

着替え時など、子どもたちは自分で考えて見せないように着替える姿も見られています。

お家でもプライベートゾーンのこと、自分の命は自分で守ることなどを親子で考える時間にしてもらえれば幸いです。性=大切なこと。性教育とは=命、体、健康について学び自分の性を大切にする。自己肯定感を育み、自分らしい生き方を考える。自分の体を自分で守ることに、時期が早すぎるということはないと考えます。これからも保育園では、子どもたちの疑問に応えていきたいと思います。そして私たち大人の性の知識も一緒にアップデートしなければならないですね。

子どもたちには、「あなたのことを大切に思っているよ」というメッセージを伝えていきましょう。